

■ 荒川中学校3年生の授業に、あらかわまち協メンバーが登壇しました！

荒川中学校3年生は、総合的な学習の時間にSDGsを視点にして日本が抱えている課題やさまざまな取り組みを知り、村上市でできる地域貢献活動について学習をしています。

6月14日の授業は、「先輩に学ぶ」というテーマで、あらかわ地区まちづくり協議会支援・情報部会の須貝俊大さん、齋藤瞳さんが登壇。今年3月に製作した荒川地区の魅力再発見するフォトブック「FindArakawa」の作成の背景や願い、中学生への熱いメッセージをお話しました。

また、6月21日の授業は、「地域経済を学ぶ」というテーマで、荒川商工会の柏櫓和子さん、あらかわ地区まちづくり協議会事業部会の古林拓也さんから地域経済の現状や課題などについて学びました。

今後、地域を守るために中学生としてやってみたい地域貢献活動をカタチにするため、さらに学びを深めていきます。



あらかわまちづくり 歴史探訪

Vol.2
(2021.7)

発行：支援・情報部会 須貝俊樹
監修：佐藤和一郎

あらかわには、あっと驚く歴史があります

平安時代
鎌倉時代



【荒川保は、国直轄の領地でした】

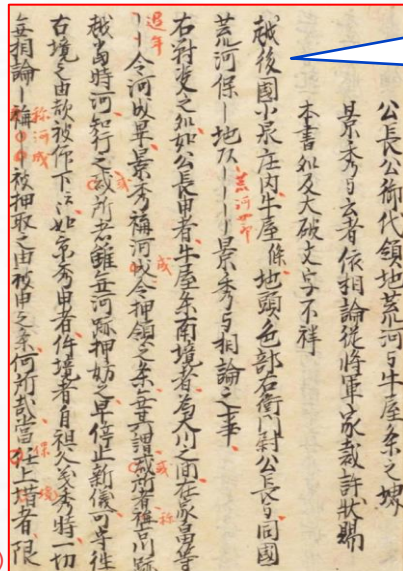
「保」とは中央の役所が所有する領地のことで、これも国衙領(こくがりょう)とともに国府の管轄下(かんかつか=権限によって支配されること)にありました。

荒川保って？
保のつく地名って、他に無いの？



国内には、県内上越地方を始め、能登、若狭、淡路など広い面積を占める「保」がありました。また、横浜市鶴見区近辺の鶴岡八幡宮領の師岡保など狭いエリアにも「保」がありました。

右図：『古案記録草案』（市立米沢図書館所蔵）に見られる記述。【書誌管理番号AB387001】市立米沢図書館デジタルライブラリーより引用(部分)



この色部氏古文書にも荒河(川)保が書いているね。なるほど！



次回は、荒川保に派遣された河村義秀の故郷、相模の国に行ってみよう！